

たかおか

市議会 だより

No.72 9月定例会号
令和5年(2023年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	3P
代表質問	4P
一般質問(一括質問・一括答弁)	6P
委員会の動き	10P

編集 ■ 広報広聴委員会

発行 ■ 高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

「義経公も見ていたかもしれない景色」(高岡「いいね」フォトコンテスト応募作品) 撮影:細川 卓馬



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



補正予算・条例など

26議案を可決・同意

代表・一般質問に15人が登壇

9月定例会は8日に開会し、29日に閉会しました。

市長から令和5年度一般会計補正予算をはじめ30議案が、議員から意見書2議案が提出され、うち26議案を可決・同意し、令和4年度決算の認定をはじめ4議案を継続審査としました。

今定例会では、代表質問・一般質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した 主な議案等

条例

■保育所条例の一部改正

公立保育所等の施設再編の基本方針を踏まえ、私立認定こども園が開園予定である戸出地区の市立保育園2園（戸出保育園・戸出東部保育園）を廃止するもの。

（施行期日）

令和6年4月1日

■高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正

在宅療養支援の拡充と地域連携の推進を図るため、高岡市民病院において、従来の医療保険に加え、介護保険での

訪問看護を開始するにあたり、指定居宅サービス及び指定介護予防サービスに要する費用の規定を追加するもの。

■地域交流センター条例

市民が主体的に地域づくりを行うための活動及び交流の場として、市立公民館施設に地域交流センターを設置するもの。

（設置場所）

市立公民館32館（コミュニティセンター13館（伏木・戸出・中田）及びふくおか

総合文化センター内の福岡中央公民館を除く）

（施行期日）

令和6年4月1日

■市営住宅条例の一部改正

新婚世帯及び子育て世帯の住宅支援として、市営住宅の

裁量階層世帯の入居対象を拡充するもの。

現 行	改 正 後
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等世帯 ・ 障害者等世帯 ・ 子育て世帯（小学校就学前の者がいる場合） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等世帯 ・ 障害者等世帯 ・ 子育て世帯（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間の者がいる場合） ・ 新婚世帯（夫婦のいずれもが婚姻の届出日現在で40歳未満かつ婚姻の届出日から1年以内に市営住宅に入居した場合。入居から3年間が対象。）

■市立学校設置条例及び公民館条例の一部改正

令和6年4月に高岡西部中学校区及び五位中学校区において統合小学校が開校するにあたり、所要の改正を行うもの。

	現 行	改 正 後
高岡西部中学校区	横田小学校	高岡西部小学校 (横田町三丁目4番1号)
	川原小学校	
	西条小学校	
五位中学校区	五位小学校	五位小学校 (柴野内島202番地)
	千鳥丘小学校	

(1) 学校の名称及び位置の変更

(2) 公民館の対象区域名の規定の変更

（現 行） 小学校名
（改正後） 地名
（施行期日）

令和6年4月1日

■福岡町島田邸条例の廃止

施設の老朽化等の状況を踏まえ、福岡町島田邸を廃止するもの。

（施行期日）

令和6年1月1日

その他

■工事請負契約の締結

旧長慶寺室内プール及び旧スポーツ・レクリエーション

ホームの解体工事を行うもの。
契約金額 3億800万円

■工事請負契約の変更

五位中学校区統合小学校に係る公共工事について、インフレスライド条項の適用等により、契約金額を変更するもの。

- (1) 校舎新築工事
（変更前） 14億4012万円
（変更後） 14億4970万円
- (2) 校舎新築電気設備工事
（変更前） 1億9944万円
（変更後） 2億205万円
- (3) 新築機械設備工事
（変更前） 3億4435万円
（変更後） 3億5451万円
- (4) 体育館等新築工事
（変更前） 6億8255万円
（変更後） 6億8635万円

人事

■教育委員会委員

藤重 歩氏（再任）

■公平委員会委員

竹田 進氏（新任）

■固定資産評価審査委員会委員

串田 光成氏（新任）

広沢 晶子氏（新任）

益井 美明氏（再任）

■人権擁護委員

松浦 士朗氏（再任）



*インフレスライド：予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったときに、請負代金額の変更を請求できる措置。

たかおか市議会だよりの 表紙写真を募集しています!!

下記のQRコードを読み取るか、インターネットで「たかおか市議会だよりの」と検索して応募フォームへアクセスしてください。たくさんの方の応募をお待ちしております。
(応募するためには、Googleアカウントが必要です)



応募フォームはこちら▶

議会日誌

6月定例会後～9月定例会前

- 6月27日 広報広聴委員会
- 7月11日 代表者会議
広報広聴委員会
- 20日 代表者会議
民生病院常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会
- 24日 総務文教常任委員会
- 24日～26日 産業建設常任委員会
行政視察
- 8月 2日 広報広聴委員会
- 3日 港湾・公共交通対策
特別委員会及び現地視察
- 4日 行財政改革特別委員会
- 8日～10日 総務文教常任委員会
行政視察
- 28日 広報広聴委員会
- 31日 議会改革検討委員会
議会運営委員会
代表者会議
- 9月 4日 正副常任委員長会議

9月定例会

- 9月 8日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 14日 本会議(代表質問)
- 20日 議会運営委員会
本会議(一般質問(一括))
- 21日 本会議(一般質問(一括))
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 25日 代表者会議
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
- 26日 代表者会議
議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 27日 議会改革検討委員会
- 29日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)

議決結果一覧表 (令和5年9月定例会)

[議案]

番号	件名	結果	
第50号	令和5年度一般会計補正予算(第3号) 20億3,816万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・大雨災害対策事業 4億734万円 ・公共交通活性化事業 1億726万円 ・公共施設等整備改修基金への積立て 14億円 など	可決	
第51号	令和5年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号)		
第52号	令和5年度駐車場事業会計補正予算(第1号)		
第53号	令和5年度介護保険事業会計補正予算(第2号)		
第54号	令和5年度高岡市民病院事業会計補正予算(第1号)		
第55号	令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)		
第56号	保育所条例の一部改正		
第57号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正		
第58号	高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正		
第59号	地域交流センター条例		
第60号	自転車等駐車場条例の一部改正		
第61号	市営住宅条例の一部改正		
第62号	市立学校設置条例等の一部改正 「市立学校設置条例の一部改正」 「公民館条例の一部改正」		
第63号	福岡町島田邸条例の廃止		
第64号	火災予防条例の一部改正		
第65号	工事請負契約の締結 (旧市長慶寺室内プール・SRホーム解体工事)		
第66号	工事請負契約の変更 (五位中学校区統合小学校校舎新築工事)		
第67号	工事請負契約の変更 (五位中学校区統合小学校校舎新築電気設備工事)		
第68号	工事請負契約の変更 (五位中学校区統合小学校校舎新築機械設備工事)		
第69号	工事請負契約の変更 (五位中学校区統合小学校校舎新築体育館等新築工事)		
第70号	令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分		継続審査
第71号	令和4年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分		
第72号	教育委員会の委員の任命について同意を求める件		同意
第73号	公平委員会の委員の選任について同意を求める件		
第74号～76号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意を求める件		
第77号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件		

[認定]

番号	件名	結果
第1号	決算の認定 (令和4年度高岡市民病院事業会計決算) (令和4年度水道事業会計決算) (令和4年度工業用水道事業会計決算) (令和4年度下水道事業会計決算)	継続審査
第2号	決算の認定 (令和4年度一般会計歳入歳出決算) (令和4年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算) (令和4年度荻布奨学金事業会計歳入歳出決算) (令和4年度駐車場事業会計歳入歳出決算) (令和4年度介護保険事業会計歳入歳出決算) (令和4年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算)	

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第7号	原発処理水の海洋放出の一旦停止を求める意見書	否決
第8号	健康保険証の廃止の延期を求める意見書	

[議員別賛否一覧] (賛否が分かれた議案等のみ)

○…賛成 ×…反対 ※…議長は表決に加わりません。

議員名	山上	新開	梅島	田中	熊木	出町	埜田	筏井	中村	高岡	酒井	林	山口	石須	本田	横田	藪中	中川加津代	坂林	福井	上田	金森	曾田	水口	大井	狩野
	尊士	広恵	清香	勝文	義城	讓	悦子	哲治	清志	宏和	善広	貴文	泰祐	大雄	利麻	誠二	一夫	永喜	直樹	武	一郎	康司	清志	正樹	安郎	
議員提出議案 第7号	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	※	×	×	○	×	×	×	×	×
議員提出議案 第8号	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	※	×	×	○	×	×	×	×	×

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



未来創政会
曾田 康司

曾田議員の
質問の様子はこちら



今後の集中豪雨等への対応

問 浸水による被害を最小化するための対策を講じては。

副市長 本市では、豪雨災害の対応として、これまで河川改修や用排水路の整備などの基盤整備を進めてきたほか、浸水被害のおそれがある時には、土のうの設置等を行い、被害の未然防止や軽減に取り組んできた。今般の線状降水帯のような短時間で集中的に降る雨にも迅速な対応ができるよう、災害情報システムの構築や排水ポンプ車等の購入を行うための補正予算案を本定例会に提出した。加えて、市内各所で発生した浸水被害の状況を分析し、水門操作の連絡体制の強化や雨水幹線等の整備など、ソフト・ハード

の両面から検討し、浸水対策行動計画としてとりまとめることとしている。関係部局の連携はもとより、国・県や関係機関の助言等もいただきながら検討を進め、早急に取り組むべき事項については速やかに予算化を図るなど、浸水による被害の最小化に一層努めたい。

今後の地域交通と観光交流

問 JRから発表された北陸新幹線金沢～敦賀間開業に伴う運行計画について、これまでの取組を含め、本市の受け止めは。

市長 東京方面への直行使数が維持されたことに加え、関西方面へは速達便の「つるぎ」が1日5往復運行されることとなった。新高岡～大阪間が最速2時間26分で結ばれ、利便性が格段に向上することは、関西圏との結びつきが強い本市にとって、大きな意味を持つものである。大阪延伸を見据えても、重要な足掛かりになると受け止めている。本市としては、これまで新高岡駅

の利便性向上や、新高岡駅を起点とした誘客拡大に取り組んできたことなどが、今回の運行計画に結びついたと認識している。敦賀開業後は、北陸エリアが新幹線1本でつながり、1つの圏域としての認知度が高まることとなる。沿線自治体、県西部6市、飛越能地域との結びつきをより強め、新高岡駅の存在感を高めていきたい。

福祉施策の推進

問 福祉施策の推進について問う。

(1) 児童発達支援や放課後等デイサービスの利用者が増加するなか、できるだけ早い時期から適切な支援を得られるように、就学前児童の支援を厚くすべきでは。

(2) 在宅で医療や介護を必要とする高齢者の増加が見込まれるなか、今後の取組方針は。

福祉保健部長 (1) 就学児を対象とする放課後等デイサービスに比べて、就学前児童を対象とする児童発達支援については、事業所及び利用者の増

加数の伸びは低い状況であり、児童発達支援の事業所の更なる増加が必要と考える。児童の発達障がいには、早期に療育を受けることで、障がいの軽減及びその後の基本的な生活能力の向上が期待できるため、児童発達支援の事業所を増やすなどの促進策を検討したい。

(2) 在宅で医療や介護を必要とする高齢者が増加する一方、生産年齢人口の減少も加速するため、限りある人材で、効率的かつ効果的に医療や介護を提供する取組が必要である。そのため、令和6年度から、本市が主体となつて、医療と介護の関係者で構成する協議会の立ち上げを予定しており、顔の見える関係づくりや課題の共有・解決に向けて取り組んでいきたい。また、6年度以降、医療と介護の関係者がタイムリーに情報共有ができるICTの導入も検討している。今後も、在宅での医療や介護を切れ目なく提供し、誰もが安心して住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護、行政が一体となり、高齢者を社会全体で支える取組を進めていく。

市政とロードマップの進捗

問 大きな財源が伴う公共施設を今後整備していく上で、市民が希望を持てる構想を描くべきでは。

市長 財政健全化緊急プログラムを達成し、コロナ禍を乗り越えつつある本市が、「持続可能な未来都市」に向けた動きを加速させるため、大型施設の在り方等について、市民が夢と希望を持てる構想や施策の方向性を示していきたい。本庁舎については、DXによって庁舎の在り方が変化するなか、これからの時代に合った投資となるよう、適正規模等を含めて検討を進めている。大規模ホールについては、高岡テクノドーム別館の状況等も注視しつつ、本市におけるホール機能の在り方も含め、検討を進めることとしている。



市民が希望を持てる施設整備を (写真は平竹記念体育館)

スポーツ施設については、竹平記念体育館のリノベーションや、既存施設の有効活用等を含め、各施設の機能や在り方等について検討を進めている。教育委員会では、基本的な指針をとりまとめるため、早ければ令和5年10月にも教育将来構想検討会議を開催し、スポーツ施設の在り方についての議論を加速させていくこととしている。



自由民主党
高岡市議会議員会

林 貴文

林議員の
質問の様子はこちら



災害に強いまちづくり

副市長 本市では地域防災計画に基づき、①予防、②応急対策、③復旧・復興の各段階において、被害の未然防止や軽減を図ることとしている。災害の予防では、河川改修等の防災事業を国・県と連携し、計画的に実施するとともに、道路除排雪体制の整備に努めている。また、情報の収集・伝達体制を整備するほか、出

前講座や各種訓練等を通じて、市民の方々に平常時からの備えを実践していただいている。応急対策として、発災前には、避難情報の発令や指定緊急避難場所の開設、発災直後からは、被害状況や被害拡大の危険性の早期把握、各種インフラ・公共施設の応急復旧を行うこととしている。

公共交通と産業の活性化

副市長 公共交通と産業の活性化について問う。

(1)北陸新幹線敦賀開業にあたり、観光・ビジネスにおける集客範囲拡大が期待されるが、その取組方針は。

(2)観光庁の観光再始動事業補助金を活用した事業を計画しているが、本市の観光需要の拡大にどのようにつなげるのか。

市長 (1)北陸新幹線敦賀開業に伴い、観光・ビジネスによる人流は、これまで以上に活発になると見られ、その効果を生み出す取組が重要と認識している。ビジネス面では、高速道路網との相乗効果により、更なる投資活動が期待されることから、本市としては、設備投資等への支援制度における要件緩和や大阪、名古屋でのビジネス交流交歓会の開

催とともに、新たな産業団地の確保に向けた取組を進めている。観光面では、県西部地域や飛越能地域のみならず、越前市、金沢市、小松市等と連携した取組を進めている。あわせて、2つの国宝やものづくり体験など、高岡でしか提供できない魅力的な旅行商品の充実と情報発信に取り組みでいく。

産業振興部長 (2)本市では、

観光庁の補助金を活用し、国宝勝興寺を舞台に「勝興寺企画展」の開催や人間国宝による人形浄瑠璃「文楽」の上演を令和5年9月から11月にかけて行う。いずれの事業も貴重な機会であり、国内だけで



勝興寺企画展「縁」(令和5年11月5日まで)

なく海外向けに情報発信を強化し、SNS等を活用した高岡の魅力伝える記事の発信や専用ウェブページでの旅行商品の販売など、一人でも多く本市への来訪につなげたい。6年度以降も、外国人旅行者に訴求力が高い観光素材の磨き上げや旅行商品の造成等に取り組み、インバウンドをはじめとする本市への観光需要の拡大につなげたい。

カーボンニュートラルの実現

副市長 脱炭素先行地域はまちなかでの取組だが、カーボンニュートラル達成のためには「ひとの力」を結集することも、中山間地域や港湾施設など地域特性を活かした循環型社会を目指すべきと考えるが、見解は。

生活環境文化部長 本市の地球温暖化対策実行計画では、

中山間地域において、CO₂の吸収・固定機能を有する森林等の保全を進めるとともに、市内の林業及び木材産業等の振興と山村地域の活性化にもつなげていくこととしている。港湾地域では、県が設置する伏木富山港カーボンニュートラルポート検討協議会において、臨海部立地産業等と連携して、港湾地域における面的

な脱炭素を検討している。市全体のカーボンニュートラル達成には地域の特性に応じた取組が必要であり、先行地域として選定されている事例も参考にしながら脱炭素に取り組み、地域特性を活かした循環型社会の実現を目指していく。

体育・スポーツ施設の在り方

副市長 スポーツコアに建設予定で、現在は凍結している総合体育館問題を抱えるなか、東洋通信スポーツセンターの老朽化が進んでいるが、市の体育・スポーツの拠点となる大型施設の整備方針は。

教育長 体育・スポーツ施設

については、人口減少社会におけるスポーツ人口の推移や、スポーツニーズの多様化、施設再編などを考慮し、市の体育・スポーツの拠点となる大型施設や、現在あるスポーツ施設の在り方について整理していく必要がある。教育委員会では、できる限り早い段階で、具体的な計画の策定を進める必要があると考えており、早ければ令和5年10月にも教育将来構想検討会議を立ち上げ、スポーツ施設の在り方についてお諮りし、計画の基本的な指針を取りまとめていく。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、13人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



出町 高岡 愛

出町議員の
質問の様子はこちら



北陸新幹線及び周辺整備

■ 新高岡駅と高岡駅を結ぶ、先進車両のシャトルバスを導入する考えは。

■ 未来政策部長 現在、新高岡駅と高岡駅間では16の系統の路線バスにより、1日あたり最大70往復が運行されており、両駅間の移動利便性は確保されていると考えている。EVバス等、先進車両の導入については、国内での運行実績や長期に渡る運行事例が少なく、安定的な運行に資する整備体制や部品供給体制の点で、ノウハウの蓄積が必要と考えており、今後の全国的な動向を注視していきたい。

JR城端線・氷見線

■ あいの風とやま鉄道が城端線・氷見線の運行主体とな

り、赤字が出た場合、その補填として県の補助金は見込めるのか。

■ 未来政策部長 城端線・氷見線の両線は、県西部の4市にまたがる広域的な路線であり、新幹線と接続する2次交通としての役割も担う重要な路線である。県は、地域交通戦略会議において、地域交通サービスは地域の活力・魅力に直結する公共サービスであり、自治体の役割を、自らの地域に対する投資であるとの考えを表明していることから、今後の両線の運行に対しても、同様の姿勢で臨んでいただけて考えている。



高岡 宏和
未来創政会

高岡議員の
質問の様子はこちら



市民が主役の地域づくり

■ 施設のオンライン予約システム及びスマートロックシステムの内容と運用の時期は。

■ 生活環境文化部長 市立公民館に設置する地域交流センターには、施設の空き状況をインターネットで確認し、利用申込ができるオンライン予約システムと、利用者が暗証番号を入力し、入口のドアを開けるスマートロックシステムの導入を検討している。導入にあたっては、まずは地域の方々にご了解をいただき、全施設同時に導入したいと考えている。運用時期については、準備期間を要するため、現時点では回答できないが、早期運用開始に向けて取り組んでいきたい。

脱炭素の市民啓発

■ 市長のビデオメッセージを作成し、各種会議や出前講座等の待ち時間に放映し、市民啓発につなげては。

■ 市長 カーボンニュートラルの実現には、市民の行動変容が不可欠と認識している。令和5年7月には、市民が分かりやすく、楽しんで実践できる脱炭素行動を記載した「たかおか脱炭素アクションプラン」を全世帯に配布し、脱炭

素の啓発に取り組んでいる。ビデオメッセージについては、前向きに受け止め、市民に私の思いを伝えられるよい機会と考え、準備を進めているところである。



梅島 清香
未来創政会

梅島議員の
質問の様子はこちら



こどもまんなか社会の実現

■ 令和5年8月にこどもまんなか応援サポーター宣言を行ったが、本市の目指す方向性は。

■ 市長 こどもの権利を第一に考え、誰ひとり取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しし、常にこどもの視点に立つことが大切であり、行政、企業、地域、学校、各種団体が一丸となって取組を推進していくことが重要である。今後、市もすべての事業においてこどもまんなかの精神をもって取り組み、こどもを産み育てやすいまちとして、今を生きるこどもたちのみならず、次の世代のこどもたちが夢や希望を持てるまちへ進化させることができるよう、令和6

年度予算編成についても、こどもまんなかを重要な視点として取り組んでいく。

プロスポーツチームとの連携

■ 令和5年度からスポーツコアのリフレッシュ事業に取り組んでいるが、プロチームも呼べる計画を検討しては。

■ 教育長 スポーツコアのサッカー・ラグビー場については、これまでもカターレ富山に利用していただいております。令和5年度は民間企業と連携したスペシャルマッチを2回開催されている。第2期スポーツ推進プランに基づき、より一層プロスポーツチームと市民がつながる機会が創出される、魅力ある施設となるよう検討していく。



プロスポーツチームとの連携を(写真はスポーツコア)

*EV：英語のエレクトリック・ビークルの略で、電気自動車のこと。



山口 泰祐
自由民主党
高岡市議会議員

山口議員の
質問の様子はこちら



7月の大雨を受けて

問 災害に強いまちづくりに
ついて問う。

(1)災害補償における既存住宅
建て替えの支援が必要では。

(2)過去にない浸水被害が発生
した箇所への今後の対応策は。

都市創造部長 (1)罹災証明書
で準半壊以上の住宅の被害を
受けた方については、災害救
助法に基づく住宅の応急修理
の支援を行っている。加えて
床上浸水の被害を受けた方の
うち、支援の対象とならない
一部損壊の被害を受けた方に
ついては、市独自の支援を行
うための補正予算案を本定例



7月の大雨による千保川流域の浸水被害

会に提出した。浸水で被災し
た家屋の建て替えについては、
浸水に強い住宅とすることが
望ましいため、どのような視
点で、どのような支援が考え
られるのかなど、他市の事例
を調査、研究したい。

上下水道事業管理者 (2)現在、
関係部局にて市内各所で発生
した浸水被害の状況を分析し、
ハード・ソフト両面から対策
を検討のうえ、短期・中期・
長期に分けて浸水対策行動計
画に反映させることとしてい
る。水路の狭隘な区間の解消
などで効果が上げられる箇所
は、速やかに工事を進めたい。

また、今回の水害は河川水位
の上昇が影響したエリアが多
かったため、この点を踏まえ
た内水対策の基礎調査を行う
こととしており、中長期的な
浸水対策の参考としたい。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



認知症対策

問 認知症サポーターステッ
プアップ講座を受講された方
が、地域で認知症の方の支援

者として活躍できる体制を目
指すべきと考えるが、見解は。
福祉保健部長 認知症サポー
ターステップアップ講座は、
令和4年度から市社会福祉協
議会と合同で開催し、受講後
は、支援者が希望する活動内
容を市社会福祉協議会に登録
いただき、支援の依頼があれ
ばつなぐ体制となっている。
今後は、5年度中に開発する
高齢者アプリに、支援者と支
援を必要とする方をつなぐ仕
組みを作り、受講者が活躍で
きる体制を整備する。

都市公園の維持管理

問 安全で持続可能な公園の
維持管理を適切に行うために、
更なる工夫を図ってはと考
えるが、見解は。

都市創造部長 指定管理者制
度を導入している公園を除く
都市公園の樹木管理には、専
門的な知識・技能を有する市
内の造園団体に一括委託を
しており、中長期的な視点で計
画的な管理を行うとともに、
スケールメリットを生かして
管理の効率化を図っている。
公園の維持管理に協力いた
している方々からの意見を伺
うとともに、他都市の取組な
ども参考にして、本市でどの
ような工夫ができるか調査、
研究したい。



熊木 義城
高岡愛

熊木議員の
質問の様子はこちら



災害時の避難所での対応

問 災害時の避難所での対応
について問う。

(1)ペット同行が可能な避難所
の設置や、各避難所の一部を
ペットの受け入れができるよ
うにしては。

(2)ペットの飼い主に対し本市
における災害時のペット対応
について、ホームページ等で
周知を図るべきでは。

総務部長 (1)災害時、避難所
にペットを同行して避難され
た場合、動物が苦手な方への
配慮や、鳴き声等のトラブル
防止、衛生面などの観点から、
居住スペースへの持ち込みを
原則禁止しており、屋外等に
設けるペット専用スペースに
おいて、飼い主の責任のもと、
飼育していただくこととして
いる。市としては、施設の状態
に応じた可能な限り、ペット
を同行して避難される方への
配慮に努めていく。
(2)ペットの飼い主の方には、災
害時にペットと安全に避難で
きるよう、平時から災害に備
えていただきたいと考えてい
る。具体的には、ワクチンの
接種など日頃の健康管理や、
ペット用食料をはじめ、首輪
やリードなど、ペット用非常
持出品をあらかじめ準備して
いただくことである。ペット
の災害対策として、飼い主が
どのように備えればよいか、
ホームページ等でも周知して
いきたい。



上田 武
立憲民主・
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



登下校時の携行品への配慮

問 登下校時における児童生
徒の携行品の配慮についての
取組は。

教育長 各学校では、宿題で
使用しない教材を置いて帰る
ことを認めていたり、曜日ご
とに学校に置いておく教科書
を決めていたりするなど、毎
年度当初に児童生徒や保護者
に知らせている。また、学校
に学習用具専用のロッカーを
準備するほか、家に持ち帰る
学習用具が多くなる学期末に

は、保護者会等の機会に保護者の方に持ち帰ってもらおうなどの対応もとっている。

宅配便の再配達削減

岡 温室効果ガスの排出抑制に効果的な宅配ボックスの設置などを、市庁舎をはじめ、市内に広げる取組を行っては。

生活環境文化部長 市本庁舎

では、地下の生協において大手の宅配事業者1社の宅配便の受取が可能である。県では、令和4年度から宅配便の再配達を減らす取組を推進しており、5年度も宅配物が増える11月から「個人の荷物も職場で受け取るーキャンペーン」を実施される予定である。市としても、市公式LINEやワーク・ライフ・バランス推進事業所へのメールマガジンに掲載するなど、県の取組や多様な宅配便の受取方法について広く周知し、再配達の削減につなげていく。



田中 勝文
未来創政会

田中議員の
質問の様子はこちら



防災意識の向上

岡 市民の共助意識向上に向けてどのように取り組んでいくのか。

総務部長

本市では、地域防災力を強化することが共助意識向上にもつながると考え、災害時に必要な知識や行動などについて自主防災組織の訓練を通して周知に努めている。具体的には、バケツリレーによる初期消火訓練や避難所で使用する備蓄資材の運搬、ダンボールベッド組立など、住民が協力して行う訓練を実施することで共助意識を高めていただいている。今後も、自主防災組織にこのような訓練を取り入れていただくよう呼び掛け、共助意識の向上に努めたい。

おとぎの森公園

岡 令和5年度の魅力向上計画の進捗状況は。

都市創造部長

4年度に策定したおとぎの森公園魅力向上計画に基づき、5年度は、おとぎの森広場の遊具の再整備と、民間活力による飲食施設等の導入に取り組むこととしている。このうち遊具の再整備については、7月に小学生を対象に実施したアンケート結果も踏まえ、現在、5年度末の設置完了に向けて工事発注準備を進めている。また、

飲食施設等の導入については、9月下旬の事業者の公募開始に向けた準備を進めており、年内に事業者を選定したい。



新開 広恵
公明党

新開議員の
質問の様子はこちら



*オストメイト対応

岡 都市公園について、国のバリアフリー化のガイドラインでは、オストメイト対応トイレの設置が推奨されているが、古城公園やおとぎの森公園で設置しては。

都市創造部長

おとぎの森公園魅力向上計画では、トイレについて、誰もが使いやすい多様な機能を備えたものにするとしており、改修する際には、オストメイト対応トイレの設置にも取り組んでいきたい。古城公園については、建物の構造など物理的な制約もあることから、現地の状況を確認し、どのような対応ができるか検討したい。

子育て支援

岡 リトルベビーの家族など、赤ちゃんの子育てに悩みや不

安を抱える家族が、夢と希望を持って子育てできる環境を、どのように作っていくのか。

市長

本市では、保健師等が妊娠期から一貫して不安や悩みに寄り添う伴走型支援に取り組みしており、特に支援が必要とされる場合には、重点的に電話や訪問を行うなど、子どもの育ちと子育てを切れ目なく支援している。今後は、ICTの導入も検討しながら、ニーズにあったきめ細やかな支援を提供することで、安心し、夢や希望を持って子育てができる体制を整えていきたい。また、母子保健推進員や民間団体、企業等の力を結集し、地域全体で子育てを支える取組の一層の充実を図っていく。



子育て支援イベントの様子



埜田 悦子
立憲民主・
社民議員団

埜田議員の
質問の様子はこちら



マイナンバーカード交付事務

岡 マイナンバーカード交付の事務はどのような体制で臨んだのか。また、超過勤務が月80時間を超えた職員の有無や、時間外労働の状況は。

生活環境文化部長

カード交付事務の体制については、会計年度任用職員を3名増員し、関係業務の民間委託を進め、令和5年1月には交付専用会場を開設した。また、同年3月には、交付専用会場でのカードの受け取りに予約制を導入し、安定した体制を構築した。時間外勤務が月80時間を超えた職員数について、カード交付の事務に限定した回答はできないが、3年度は0名、4年度は11月から3月の一番多い時期で4名、5年度が4月から5月にかけて2名である。

生活困窮者の支援

岡 生活保護の相談をしたが申請に至らない主な理由は。

*オストメイト：様々な病気や事故などにより、お腹に排泄のための人工肛門・人工膀胱を造設した人のこと。

また、その後の支援状況は。
福祉保健部長 主な理由としては、十分な収入や預貯金がある場合、他に活用できる制度がある場合のほか、「家族で生活しているが、一人で受給したい」との意向が示された場合が挙げられる。申請に至らない場合は必要に応じて困窮者支援や医療費助成などの相談窓口につないでいる。



中村 清志
未来創政会

中村議員の
質問の様子はこちら



避難行動要支援者への対応

副市長 避難行動要支援者への対応マニュアルを作成し、周知されるよう努めては。

福祉保健部長 避難行動を必要とする方々への適切な対応方法を習得することが重要であるため、マニュアルの作成は非常に効果的と考えている。作成したマニュアルを活用し、各地域で要支援者を対象とした防災訓練を実施することで、発災時における円滑な避難行動につながることを期待される。今後、先進地の事例などを参考にしながら取組を進め

ていく。

公立園の子どもの出席確認

副市長 子どもの出席確認作業についてマニュアルが徹底されているのか。

福祉保健部長 公立園では、クラス主任が園児の出欠状況を確認し、欠席の連絡がないのに登園していない児童がいた場合、園長が保護者に電話連絡し、園児の所在を確認している。令和5年度から園児数の多い万葉なかよし保育園と牧野かぐら保育園に保育業務支援システムHoiic（ホイック）を導入し、園児の出欠状況を管理している。システムを導入していない公立園においては、職員の電話連絡による出席確認作業を徹底するとともに、今後は、子どもの安全対策を強化するためのICTシステムの導入を検討していく。



石須 大雄
立憲民主
社民議員団

石須議員の
質問の様子はこちら



国際交流の在り方

副市長 国際交流について問う。

(1) 姉妹・友好都市を含めた国際交流についての本市の考え方は。

(2) 円安のなか、自治体の海外出張の在り方も問われる中で、高額な公費負担を伴う今回のフォートウエーン市への訪問で、期待される成果は。

市長 (1) 昨今、ICT技術の進歩により容易に外国の情報を収集できるようになり、メールやSNS等での交流も可能となった。今後、現地での対面型の国際交流に加え、ICT技術を活用するなど国籍、文化等の違う相手と普段から交流できる環境を整え、異文化コミュニケーション能力を身につけた人材育成の機会とするとともに、本市における多文化共生のまちづくりの推進につながるよう考えたい。

生活環境文化部長 (2) フォートウエーン市との交流は、親善訪問、文化・スポーツの相互交流等をはじめとして、姉妹校提携、姉妹商工会所提携等へと発展してきている。今回の訪問では、姉妹都市提携45周年を祝うとともに、今後の交流の在り方について協議する予定としている。国際交流の手法も多様化する中で、異文化コミュニケーション能力を身につけた人材の育成に向けた、今後の姉妹都市交流

の在り方が示されることとなるよう取り組みたい。



横田 誠二
自由民主党
高岡市議会議員

横田議員の
質問の様子はこちら



被災者への対応

副市長 臨時の総合窓口の設置など、被災者の負担軽減に資する行政運営方法を検討しては。



臨時総合窓口の設置により、被災者の負担軽減を

方々の負担軽減に努めた。臨時の総合窓口等の設置も選択肢として、さらに一歩踏み込み、市役所に足を運ばなくてもよい対応ができないかという観点も交え、どのような対応ができるか検討したい。

適切な財政運営

副市長 財政の弾力性向上について再考すべきと考えるが、所見は。

市長 令和4年度に策定した行財政改革推進プランにおいて、物価高の中においても予定する大型事業を着実に進めるための具体的な取組を定めた。一方で、想定を上回る物価上昇が続いており、本市財政への影響が懸念される。今後見込まれる大型事業の実施はもとより、社会情勢や本市を取り巻く環境の変化に伴う新たな行政課題についても、物価上昇や近年多発する災害といった懸念事項への対応を考慮した上で見通しを立てていく必要がある。今後も、社会情勢の変化などを注視のうえ、適切な財政運営のために必要な手立てを講じることを検討したい。



委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 移住支援金給付事業費について、増額補正の積算根拠は。また、令和5年度当初予算を上回る申請があったことに対する受け止めは。

答 当初予算においては、単身での移住を10件、世帯での移住を4件と見込んでいたが、上半期の実績を踏まえ、通年では、単身での移住を4件、子どもを含む世帯での移住を13件と積算している。支援金

については、単身での移住の場合60万円、世帯での移住の場合100万円となっており、18歳未満の子どもがいる場合は1人につき100万円が加算される。コロナ禍でテレワークや働き方改革が進み、移住を考えている方々の意識が働き方から暮らし方に変化してきていると感じており、都市部からのヒト・モノ・コトの循環を生み出し、いきいきな施策を展開していきたい。

○民生病院常任委員会

問 地域交流センターの設置について、地域にどのように説明をしていくのか。

答 令和5年度に入ってから、連合自治会長、公民館長などに説明をしてきており、現在は、各地区の自治会長や各種

団体の方々が集まる際に説明の機会をいただき、地域交流センター設置についての理解を深めていただいている。引き続き各地区に丁寧な説明し、ご理解とご協力を得ながら進めていきたい。

○産業建設常任委員会

問 高岡古城公園維持管理事業費について、シビッククロードの歩道橋のエレベーターを修繕することのだが、当該エレベーターの現状と、修繕を決定するに至った経緯は。

答 当該エレベーターは、定期的に実施している保守点検において、部品の交換が必要と判断された箇所がある。また、一部の部品については、製造中止により令和5年度末までに供給停止となるものが

ある。利用者の安全確保を図るため、本定例会に所要の修繕を行う補正予算案を計上した。

決算特別委員会の予定

令和4年度分の決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

11月 2日	10時	水道病院会計（大綱説明）
	13時	普通会計（大綱説明）
11月 7日	9時30分	普通会計（審査）
	10時	水道病院会計（審査）
11月 8日	9時30分	普通会計（審査）
	10時	水道病院会計（審査）
11月 14日	10時	水道病院会計（討論・採決）
	13時	普通会計（討論・採決）

編集後記

今年の夏は例年にも増して暑い暑い日々が続きました。近年は世界規模で災害が多発しており、この地球の悲鳴が聞こえます。プラスチックをできる限り使わない、無駄なものを買わない、電気をこまめに消す、ノーマイカー運動に参加するなど、1日に一つでも自分のできることを見つけ、地球と自分へのご褒美にするのも楽しいのではないのでしょうか。

さて、今定例会では、7月に県内で初めて発生した線状降水帯による豪雨災害関連の予算が提案されました。多くの議員が避難支援や災害ボランティアなどについて質疑等を行いました。

普段から備えていても自分の身に災害が降りかかるとは思いにくいものです。病气や障がいも似たところがあります。今、自分のことではなくても自分ごととして考え、人のことを思いやれる、やさしい高岡を目指してまいります。

（埜田記）

★編集委員

◎ 篠井 ○ 数中

新開、梅島、田中、熊木、埜田、高岡、林、山口

◎ 委員長 ○ 副委員長

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月21日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

1日	9時	代表者会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（提案理由説明）
7日	10時	本会議（一般質問一括）
8日	10時	本会議（一般質問一括）
11日	10時	本会議（一般質問一括）予備日
12日	10時	議会運営委員会
13日	10時	本会議（一般質問一問一答）
14日	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
15日	10時	議会運営委員会
	13時	総務文教常任委員会
20日	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（議案など議決）

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局（☎20-1531）までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名（うち車椅子利用者は5名）まで、委員会は7名まで傍聴できます。

6月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和5年 7月	-	2人
8月	-	0人
9月	78人	0人